

GREEN ニュース

行動する環境アドバイザーの会報

第 102 号 2025

環境アドバイザー連絡協議会

第 13 期代表 井上金治

令和 7 年 10 月 発行

創刊平成 5 年 7 月 16 日



各部会の活動が活発です！講師をお招きしての講演会、アドバイザー同士の情報交換、他団体の研修会への参加など、楽しく学び、集い、つながりを広げています。

前橋市 酒井義明

群馬県環境アドバイザーの登録状況 (2025 年 10 月 14 日現在)

第 13 期（登録期間：2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）の登録者数は、更新者、新規登録者を含め、合計 346 名です。自然環境部会 195 名、温暖化・エネルギー部会 153 名、ごみ部会 119 名、広報委員会 52 名が登録し活動されています。

【目次】

- P2 環境イベントのごあんない
- P3 雑草と呼ばれる植物と除草
[環境学]in 安中市学習の森
- P4 太陽光のエネルギーと窓ガラス遮熱
・断熱及び安全対策フィルムについて
環境フォーラムで廃棄パソコン回収します
- P5 ソーラークッキング体験とエコ・クッキング
カッコソウ生育地の観察会
- P6 自然の力で栽培、デジタル技術を活用して発信
令和 7 年度野生生物保護功労者表彰を受賞して
- P7 ミニ風力発電装置の補助器具の交換修理工事を実施
- P8 ドイツ功労勲章功労十字小綬章

編集後記

群馬県環境情報サイトの URL が変わりました

2023/10/1～



<https://www.pref.gunma.jp/site/eco/>

ECO ぐんまの X（旧ツイッター）をフォローしよう！



環境イベントのごあんない

群馬県 環境森林部 環境政策課 環境政策係

今年も酷暑が続いた夏でしたがやっと終息を迎え、過ごしやすい季節となりました。穏やかな暮らしを彩るこの素敵な環境を守るため、群馬県庁にて環境イベントの開催が予定されております。多種・多様さまざまな提案をご覧くださいのでぜひ環境アドバイザー皆様のご来場をお待ちしています。

環境アドバイザー フォーラム 2025

環境アドバイザーの活動紹介や活動内容のパネル展示そして後半は富所さんの楽しい講演も ^^)

また、新しい試みとして参加者全員による交流会を企画しました。複数のテーブルを設置、時間を区切って解散・集合してテーマごとに交流を図ります。

不要 PC 関連機器の回収破壊も同時開催。ぜひご利用ください。

環境アドバイザーフォーラム 2025

活動紹介
活躍するアドバイザーさんのお話を聞いて！
活動の目的のヒントが得られます。

講演
富所哲平さん
(ファンタジー・SDGs 代表)
演題「風が吹けば被害が起きる。自然を学ぶは天候が読める！？」

交流会
みんな、活動の輪をつなげよう！
たくさんの人と知り合えるチャンス！

実践活動
不要PC回収破壊（詳細は要領参照）
廃棄しきれないPCがありましたら、当日会場へお持ちください。
当日持ち帰るものも持ち帰ります。

入場 無料

2025年
11月 1日(土) 10:00~15:00

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1丁目1-1
群馬県庁 28階 281会議室
主催：群馬県環境アドバイザー連絡協議会
共催：群馬県環境政策課

プログラム

No	開始予定 時刻	内容
1	10:00	開会 挨拶 ・群馬県環境アドバイザー連絡協議会 代表 ・群馬県環境政策課 課長
2	10:15	活動紹介 ・「行動プラン法を用いた交通手段転換の動機づけの試み」 定方さん ・「エコ・クッキング」事務局でミスターの笑顔！ 木村さん ・「私のネイチャー・ボジティブストーリー」 横田さん ・「持続可能な環境保全をめざす高水準環境の実現」 高橋さん ・「令和7年度野生動物被害防止対策」 高橋さん
3	12:00	パネル展示 & 「やってみよう！群馬県版myCO2シミュレーター」 活動の紹介など、お楽しみも会場でお楽しみください。
4	13:00	講演 富所哲平さん (ファンタジー・SDGs 代表) 演題「風が吹けば被害が起きる。自然を学ぶは天候が読める！？」
5	14:00	交流会 会場ごとにテーブルを移動して色々な方とお話をしましょう！
6	15:00	閉会 実践活動：ごみ拾い ※ごみ拾いは別途、希望者で行います。

お知らせ

【不要PC回収詳細】
回収できるもの：パソコン、マウス、ディスプレイ、プリンター、ICカードリーダー、携帯電話、スマホ、コード・ケーブル類

※データ破壊証明書が必要な場合は、氏名・PDFの送り先（メールアドレス）・連絡先電話番号を書いてお持ち込みください。当日会場に提出してください。（証明書はPDFでメール送付します）
問い合わせ先：ごみ部会 環境（なま）070-5672-9024まで
回収業者：ぐんま基盤ネットワーク

※当日1階ではディスプレイ関係の展示、駐車場確保が予定されます。
公共交通での来場をお勧めします。
・高崎駅南口よりバス（奥町）下車（1番乗り場 前橋公園行）
・高崎駅南口よりバス（奥町）下車（1番乗り場 前橋公園行）
・高崎駅南口よりバス（奥町）下車（1番乗り場 前橋公園行）

令和7年度 第25回
ぐんま環境フェスティバル

資源循環、脱炭素、本気ストップ温暖化！

雨天決行
2025. 11.15(土)
10:00~15:30

群馬県庁 県民広場・県民ホール

AM 10:00 オープニングセレモニー
11:00 FM GUNMA 公開生放送
11:55 公開生放送
PM 1:30 G-FIVE環境寸劇
3:15 クロージングセレモニー

公開生放送
FM GUNMA パーソナリティの内藤聡が、
私たちの身近な取り組みを楽しく
放送を通してお伝えします！

ぐんま環境フェスティバル

近年、気候変動や環境汚染、生物多様性の喪失など環境をめぐる様々な課題が顕在化している中で、廃棄物の発生抑制や循環資源の利用、自然保護などの取り組みにより、環境への負荷をできる限り少なくし持続可能な社会を築いていくことが求められています。

このような状況を鑑み、県民の皆様一人ひとりが身近な環境を見つめ直し、できることから取り組んでいただく機会とするため、産学官が連携し「ぐんま環境フェスティバル」を開催するものです。

fm Gunma 86.3
公開生放送

来てね！
聞いてね！

FM GUNMA パーソナリティの内藤聡が、
私たちの身近な取り組みを楽しく
放送を通してお伝えします！

雑草と呼ばれる植物と除草

副代表（中部地区） 松岡 三吉

30年ほど前、雑草と呼ばれる植物は存在しないと、ある研修会で講師の先生から教えていただきました。まず、「10種類くらい名前を覚えれば、だんだんと、雑草と呼ばなくなっていきます。」とのことでもありました。それ以来少しずつ、畑や土手、道端などで、名前を覚えてきました。シロザ、アカザ、ハキダメギク、エノコログサ、カゼクサ、カモガヤ、ギシギシ、ヨモギ、オオアレチノギク、ヒメジョオン、ハルジョオン、ホソアオゲイトウ、ノゲシ、ノボロギク、オオバコ、ハコベ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、コオドリコソウ、ヒメスイバ、スベリヒユ、メヒシバ、オヒシバ、カナムグラ、ヤエムグラ、ヤブガラシ、イヌタデ、カタバミ、クサノオウ、カキドオシ、アメリカフウロ、イラクサ、ヤブマオ、カラムシ、ヨウシュヤマゴボウ、ノアザミ、ノビルなどは放っておくとすぐ増えてしまいますので、忘れようがありません。また、オオブタクサ、コセンダングサ、アメリカセンダングサなどを見かけることが増えて来ました。なお、子供の頃の記憶では、ワレモコウ、ネジバナ、ニワゼキショウも見かけました。



これらの植物も光合成をして地球の温暖化を緩和しているとは思いますが、しかし、大きめの動物がもしかしたら寝転んだのかと思えるような跡があったり、トラクターで耕した土に、動物のそれなりの大きさの足跡があったりします。野生の動物を引き寄せる可能性があるならば、人への被害防止のためにも、ためらう場合ではないと、除草に取り組んでいます。土地改良事業をした畑の土手は、除草の際は、除草剤をまかずに、草払機で除草してほしいと担当者から言われました。自分の畑や土手ではどこでも除草剤は使っていません。しかし、最近の暑さは大変で、除草が遅れてしまうこともあります。

[環境学] in 安中市学習の森

自然環境部会 櫻田 稔

7月11日安中市学習の森に於いて、里山の花場・里の小屋友の会は日本子守唄協会と共同主催として、ノンフィクションライター古庄弘枝先生をお招きし、[13歳からの環境学.未来からの叫び]と称し、講演会を行いました。



電磁波の計測結果に興味を示す受講者

スマートフォンから発生している電磁放射線についてのご講義は参加者全員を釘付けにし、実際に測定器で計測していただきその危険性についての認識を共有することができました。そして子どもたちには自然へのふれあいが大切であることをまなびました。



講演会のようす



NP宣言

太陽光のエネルギーと窓ガラス遮熱・断熱及び安全対策フィルムについて

温暖化エネルギー部会 西部地区（高崎市新町） 畑元 浩

9月6日（土）温暖化エネルギー部会において上記内容について、体験・説明会を実施させていただきました。（参加者15名）

参加者全員の方々にフィルムの効果を実感していただきました。また、説明後には活発な意見・質問を頂きました、皆さんの関心の高さを実感する事が出来ました。

今年は数十年に1度の猛暑の年とも言われていますが、2020年以降は間違いなく地球温暖化の影響で温度上昇が発生しているとも言われています。この影響で今年の夏はエアコンを24時間点けている方々も増えていると思います。ここで家庭内に入り込む熱い熱の71%は窓・ドアから、また冬場は逃げ出す温かい熱の48%は窓・ドアからと言われています。



遮熱・断熱及び安全対策フィルム

を窓ガラスに貼ることにより、下記の効果が得られます。①赤外線85%カット（暑さのもとになる赤外線を80%～95%カットします）②紫外線99.5%カット（お肌の健康を守ります。日焼けによる室内の変色・劣化も防ぎます）③飛散防止効果（地震などの災害時に、飛散防止効果が有ります）④可視光線透過率85%（透過性が非常に高く、室内の明るさにほとんど影響を与えません）⑤冷暖房費の節約（省エネと節電に貢献）



無理をせずに快適な生活と省エネルギー・防災・防犯が出来ます。

環境フォーラムで廃棄パソコン回収します

ごみ部会長 奈賀 由香子

パソコンや携帯電話、廃棄するのにお困りではありませんか？データが入っているものは心配ですね。今度の環境フォーラム（11/1開催）では、ごみ部会が初の試みとして、廃棄したいパソコンなどの回収窓口を設けることになりました。お手元に残っているスマホや携帯、パソコンや周辺機器などありませんか？

無料でお引取りいたします！
ぐんま基盤ネットワークではパソコン・小型電子機器等を集めています。
また、一緒にリサイクル業に取り組み事業所も、同時に募集あります！
詳細は裏面にある最寄りの事業所か、ぐんま基盤ネットワーク事務局までお問い合わせください。

— 引取可能な物 —

- 不要のパソコン・古いパソコンOKです
- 携帯電話・スマートフォン
- 不要なコード類
- ゲーム機・カーナビ
- AV機器
- など

— 引取不可の物 —

- 冷蔵庫
- エアコン
- 洗濯機
- ブラウン管テレビ
- 蛍光灯・乾電池
- など

引き取って解体したパソコン等は可能な限り、材料ごとに分別し売却します。

「ぐんま基盤ネットワーク」という複数の社会福祉法人がメインの団体が、障害者の就労支援事業として解体作業をされています。当部会の富岡賢洋さんからご紹介いただき、今回の取り組みへとつながりました。どのように処理されるか、誰が処理をするのか、そういったことがわかると安心して廃棄できますよね。個人情報漏洩が一番心配なところですが、物理的に破壊してから材料ごとに分別リサイクルされますので、データ流出の危険はありません。パソコンにはデータ廃棄証明も出してもらえます。どうぞ、11月1日の環境フォーラム会場へ、ご不要になったパソコン、マウスやケーブルなどの周辺機器、スマホや携帯電話、お持ちください！今問題になっているモバイルバッテリーも、膨らみやへこみ、異常発熱、発煙したことがあるもの以外なら引き取ってくれるそうです！

ソーラークッキング体験とエコ・クッキング

共愛学園前橋国際大学短期大学部食育研究会 木村 祐美

8月23日(土)、共愛学園前橋国際大学短期大学部において親子対象のセミナー「エコ・クッキングを学ぼう！(ソーラークッキングのハンバーガーと米粉のチョコケーキ)」が行われました。

参加者は、段ボールにアルミ蒸着フィルムを被せた簡易ソーラークッカーを作製し、ハンバーガーを太陽光エネルギーで加熱しました。約1時間の加熱時間でしたが、ハンバーガーの表面温度は100℃ほどに上昇し、熱々に加熱された美味しいハンバーガーが出来上がりました。参加者は皆、太陽光エネルギーの強さにとても驚いて、太陽光エネルギーの活用に興味をもってくれました。また米粉のチョコケーキの材料に、米粉(製菓用)、豆乳ヨーグルト、米油を使用することでCO₂削減やSDGsにつながることを、国産国消やフードマイレージを意識した食生活やエコ・クッキングのポイントを調理実習で体験しながら学ぶことができました。

親子で楽しくエコ・クッキングを体験し、環境と食生活のつながりを学ぶだけでなく、食を通じた親子のコミュニケーションの機会になり、食育目標「みんなで楽しく食べよう」の一助にもなりました。



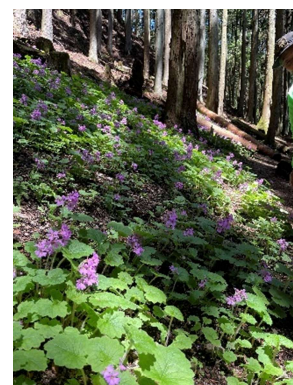
カッコソウ生育地の観察会

みどり市 高草木 弥生

5月11日、桐生市・みどり市周辺の山地のみに自生するカッコソウ生育地の観察会に参加しました。カッコソウは平成24年度に絶滅のおそれのある国内希少野生動植物種に指定されたことで、無許可での採集や販売、譲渡は禁止されている植物です。

雨で一日延期となった観察会当日、風が少し強かったですが爽やかな天候に恵まれました。カッコソウ生育地まで林道をしばらく歩き広い敷地に出たところで、カッコソウはもう目撃かと思ったのですが、実際はそこから見える傾斜の急な山林の中にあるようで、さらに登っていくと、杉木立の中にピンク色の花を咲かせたカッコソウの群生が現れました。そのカッコソウは第一カッコソウの群生で、さらに上へ登ると第二のカッコソウの群生が咲き広がっていて、初めて見る花の姿にとっても感動しました。

案内をしていただいた環境アドバイザーの村田さんによると、初めは2株ほどしか咲いていなかったが地元の方々の協力と長年の保全活動によりここまで増えていったそうです。そして、あと3年もすればこの場所一面にたくさんのカッコソウが咲きます。と満面の笑みでお話してくださいました。今回見させてもらったカッコソウ生育地ですが、一カ所、木が倒れて下敷きとなっていました。下敷きになってしまったカッコソウは枯れてしまうのかなと、とても心配になりました。自然の摂理は人知を超えるように、カッコソウ自体の再生力に期待したいです。しかし、カッコソウはまだまだ人為的な保護活動が必要だと言われています。カッコソウだけでなく、その環境を整えることで生物多様性を保全する森の役割を維持、発揮できるように、私自身もこの活動に携わりたいと思いました。次は生育地の整備、落ち葉かきなどの保全活動に参加してみたいです。



自然の力で栽培、デジタル技術を活用して発信

農家（高崎市） 島田 公太

高崎市阿久津町でベビーリーフの自然栽培をしています。ベビーリーフとは発芽して1~2ヶ月、10~15cm程度の食べられる葉物野菜のことを言います。

自然栽培とは様々な定義がありますが自分は無肥料、無農薬、不耕起を心がけており、自然の力を活用して野菜を栽培しています。雑草などは根ごと抜かず刈り取って土に敷くことで肥料になり土の乾燥を防ぐこともできます。また、土が肥沃になり多種多様な微生物や虫が集まることで偏った害虫の発生を抑えることもできます。ベビーリーフは複数の品種を混ぜて種をまくことで、自分好みのベビーリーフや用途に合わせて提供をすることができ、自然栽培では多様な生物や植物が共存する環境を作り出し、その中で食物連鎖や循環が自然に起こります。つまり、ベビーリーフの「多様な品種を育てられる」と自然栽培の「多様性を活かす仕組み」が重なり合うことで、より可能性を発揮できるのではないかと考えています。

自然栽培は畑の状態や環境によって安定した収穫ができるようになるまでに時間がかかりますが、肥料や農薬、資材などのコスト削減にも繋がります。これにより農業のハードルが下がり、機械や資材を用意しなくても気軽に栽培に取り組める可能性が広がります。

また、プログラマー経験があり、そのスキルを活かして農業 xIT を掛け合わせた活動も行っています。仮想空間上で農家さんの活動や栽培手順などを体験できる「農業メタバース」というものを運用中です。農業メタバースではスマホやPCからアカウントなしで気軽に入ることができ、現在は農家さんが農業メタバースに集まり、農業の現場を発信したり、農家さんの実際の畑を立体化して規模感や活動内容を知るイベントなどを中心に行っています。実際に農家さんの野菜販売ページに移動して購入もすることができます。

今後は廃棄野菜や規格外といった環境に関する内容もコンテンツ化をし、ゲーム感覚で子供から大人まで遊びながら学べる仮想空間を作る予定です。

農業メタバース：<https://cloud.vket.com/worlds/3099>



自身でブランディングをしている

kota's Baby Leaf



令和7年度野生生物保護功労者表彰を受賞して

前橋市（環境G S省エネ診断員） 富岡 賢洋

この表彰は、日本鳥類保護連盟主催、環境省共催の「第79回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい」に合わせて行われたもので、鳥類保護連盟総裁賞、環境大臣賞、文部科学大臣賞、林野庁長官感謝状、鳥類保護連盟会長賞、環境省自然環境局長賞などの賞があり、このうちの林野庁長官感謝状をいただきました。

現在、環境アドバイザーとして、温暖化・エネルギー部会、自然環境部会、ごみ部会に所属していますが、このほかでもいろいろな活動に取り組んできました。以前勤務していた学校では、藤岡市の天然記念物であるヤリタナゴ、マツカサガイ、ホトケドジョウの保護を進めている団体の活動に、学生とともに協働してきました。また、生徒が授業で製作した野鳥の巣箱を、日本野鳥の会群馬の事業に合わせて高崎市野鳥の森に設置しました。



野鳥の巣箱の設置

群馬県自然保護連盟では、赤城山南西部のニホンサクラソウ自生地での株数調査や、みなかみ町エコツーリズム推進協議会と共同で、湯檜曾川沿いに自生している特定外来植物オオハングンソウの駆除作業にも携わっています。さらに、日本自然保護協会、林野庁関東森林管理局、赤谷地区地域協議会で組織する赤谷プロジェクトのサポーターとして、イヌワシの生息地や湿原などで野生動物の生息環境の保全活動にも加わってきました。



ニホンサクラソウの
株数調査

このほか、前橋市鳥獣被害対策実施隊員として、シカやイノシシの捕獲活動にも従事しました。これは、農林業への被害対策が主目的ですが、赤城山西麓のヒメギフチョウの生息域では、ウスバサイシンという蝶の食草がシカの食害を受けているため、地域によっては間接的な役割も期待されます。

いま、「ネイチャーポジティブ」ということが注目されていますが、エネルギー、地球温暖化、廃棄物、生物多様性に関する問題は、相互に関連しているところがあります。アドバイザーの皆さんもいろいろな領域がありますので、できるところから活動に取り組まれることをお勧めします。



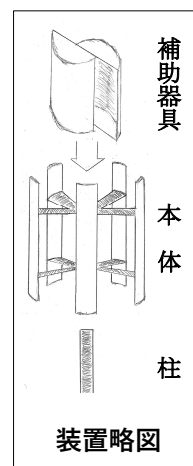
ミニ風力発電装置の補助器具の交換修理工事を実施(6月21日)

温暖化・エネルギー部会 金子 昭一

温暖化・エネルギー部会では、2021年6月に前橋市嶺町にあるワイルドライフガーデンにミニ風力発電装置（高さ約3m）を設置し、不定期ではありますが、ときどき観測を行ってきました。このミニ風力発電装置の、後付け補助器具（プラスチック製 手作りサボニウス型風車※）が経年劣化で破損したため、交換修理を行いました。交換修理の結果、復活し、以前と変わらずに弱い風でも回って発電できました。

修理作業終了後、木陰で、設置先の土地のオーナーのご厚意でいただいたクロモジという木の枝と葉から作った和風ハーブティーと枇杷でティーパーティを行ない、ゆったりとした時間の中で、環境活動について情報交換して過ごすことができました。修理にご協力いただいた部会の皆さま、ありがとうございました。

※サボニウス型風車は、本体よりも遅い風速で回転を始めるため、本体の補助に役立っています



写真（左） 補助器具の交換

写真（中央） 修理後のミニ風力発電装置

写真（右） 作業後のティーパーティ



動作している
ときの動画
← 9月撮影
(QRコード)

ドイツ功労勲章功労十字小綬章

広報委員（前橋市） 酒井 義明

このたび、環境アドバイザー連絡協議会第5期～第8期（平成15年～平成23年）の代表を務められた鈴木克彬さん（前橋市）が、日本とドイツの関係発展に尽力された功績により、ドイツ功労勲章功労十字小綬章を受章されました。授与式は、東京・南麻布のドイツ大使館公邸にて執り行われました。

鈴木さんは、環境アドバイザーとして精力的に活動され、欧州視察研修1（平成13年）、在日ドイツ人による環境講演会の開催（平成14年）、講演「ドイツ人から見た環境問題あれこれ」（平成15年）、さらには欧州視察研修2（平成16年）などを通じて、環境先進国といわれるドイツをはじめヨーロッパ諸国との交流を深め、環境対策に関する啓発活動に取り組まれてきました。

環境アドバイザーの大先輩である鈴木さんのご受章を心から嬉しく思うとともに、改めて「自分は何がしたいか」「何ができるか」を考えさせられました。

もう少し知識を深めてみよう、部会に参加してみよう、近所のごみ拾いから始めてみようなど、できることは小さくても、楽しみながら少しずつ行動に移していきたいと思います。



・・・・・・・・編集後記・・・・・・・・

広報委員（前橋市） 常見 智之

酷暑が続いた夏が終わり、過ごしやすい季節となりました。穏やかな暮らしを彩るこの素敵な環境を守るため、本号ではアドバイザーの皆さんの活発な活動を紹介しています。

群馬県環境アドバイザーの登録者数は第13期で合計346名となり、各部会で活発に活動されています。自然環境部会では、絶滅危惧種のカッコソウ生育地の観察会への参加や、ニホンサクラソウの株数調査、野生生物の生息環境の保全活動など、多岐にわたる取り組みが報告されました。温暖化・エネルギー部会では、猛暑対策として窓ガラス用遮熱・断熱フィルムの体験・説明会や、ミニ風力発電装置の交換修理工事を実施するなど、地球温暖化対策に積極的に取り組んでいます。また、11月1日には「環境アドバイザーフォーラム2025」、11月15日には「ぐんま環境フェスティバル」が開催され、環境保全に向けた多種多様な提案がご覧いただけます。フォーラムでは、ごみ部会による廃棄PCなどの回収窓口も設けられます。そして、環境アドバイザー連絡協議会の元代表である鈴木克彬さんのドイツ功労勲章受章の報は、私たちにとって大きな喜びと、改めて「自分は何ができるか」を考えるきっかけを与えてくれました。

今、環境問題は相互に関係しており、「ネイチャーポジティブ」という言葉が注目されています。できることは小さくても、私たち一人ひとりが楽しみながら活動の輪を広げ、次の世代へと繋ぎ広げていきましょう。

GNの発行予定および問い合わせについて

グリーンニュース（GN）は年4回発行します。掲載したい原稿などございましたら下記にご連絡ください。

群馬県 環境政策課 環境政策係 環境サポートセンター 角張

〒371-8570 前橋市大手町一丁目1番1号

TEL 027-226-2827 FAX 027-223-0154 E-mail: kakubari-toshiaki@pref.gunma.lg.jp